

ウスメバル放流種苗作出試験（小泊・下前）

（要 約）

村松里美・鈴木亮・吉田雅範

目 的

流れ藻に付随して陸奥湾内へ移動してきたウスメバル稚魚を採集し、放流適サイズまで中間育成し、種苗放流による資源造成の可能性について検討する。

材料と方法

1. ウスメバル稚魚の採集

平成 28 年 5 月 13 日から 6 月 3 日に、陸奥湾内の青森市奥内及び後潟地区のホタテガイ養殖施設 37 箇所に設置した、海藻（アカモク 1 種）を装着したウスメバル稚魚採集用トラップに集まったウスメバル稚魚をタモ網で採集した。

2. 放流用種苗の作出

採集したウスメバル稚魚を、当研究所の角型 15 トン水槽 2 面で、平成 28 年 5 月 23 日から 11 月 16 日まで中間育成し、放流用種苗を作出した。

結果と考察

1. ウスメバル稚魚の採集

ウスメバル稚魚を 5 月に 30,000 尾、6 月に 5,000 尾の計 35,000 尾を採集し、このうち 30,000 尾を放流用種苗の作出に用いた。

2. 放流用種苗の作出

放流用種苗の作出結果について表 1 に示した。

中間育成を 178 日間行い、生残率 94.6%、28,400 尾の放流用種苗を作出した。そのうち 9,440 尾が平均全長 74.1mm、平均体重 7.1g の大型サイズで、18,960 尾が平均全長 50.1mm、平均体重 2.1g の小型サイズであった。

平成 28 年 11 月 17 日に、小泊漁協及び下前漁協へ大型サイズ及び小型サイズを半数に分けて運搬し、各漁港内に放流した。

表 1. 放流用種苗の作出結果

機関	中間育成 開始日	収容尾数 (尾)	収容開始サイズ		放流個体	中間育成 終了日	取上げ尾数 (尾)		取上げ時サイズ		放流場所
			平均全長 (mm)	平均体重 (g)			サイズ別 尾数	合計 尾数	平均全長 (mm)	平均体重 (g)	
小泊漁協	H28. 5. 23	15,000	14.2	-	大型サイズ	H28. 11. 16	4,720	14,200	74.1	7.1	小泊漁港
					小型サイズ		9,480		50.1	2.1	
下前漁協		15,000			大型サイズ	H28. 11. 16	4,720	14,200	74.1	7.1	下前漁港
					小型サイズ		9,480		50.1	2.1	

発表誌：小泊・下前ウスメバル放流種苗作出試験報告書．（地独）青森県産業技術センター水産総合研究所，平成 28 年 11 月．